

## 令和7年度年度計画変更内容表

項目	令和6年度年度計画	令和7年度年度計画	変更理由																																				
(P2) 第2-1-(3)-イ	内視鏡下手術支援ロボットの2台体制による効率的な稼働に努めるとともに、低侵襲な治療を推進し患者の早期回復、早期退院に努める。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内視鏡下手術支援ロボット</td> <td>150件以上</td> </tr> </tbody> </table>	項目	目標値	内視鏡下手術支援ロボット	150件以上	内視鏡下手術支援ロボットの2台体制による効率的な稼働に努めるとともに、低侵襲な治療を推進し患者の早期回復、早期退院に努める。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内視鏡下手術支援ロボット (※)</td> <td>300件以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>※中期計画では150件以上</p>	項目	目標値	内視鏡下手術支援ロボット (※)	300件以上	年度計画の目標値を上方修正																												
項目	目標値																																						
内視鏡下手術支援ロボット	150件以上																																						
項目	目標値																																						
内視鏡下手術支援ロボット (※)	300件以上																																						
(P4) 第2-1-(6)-ア	認知症疾患医療センターとして、関係各機関や患者に対し、認知症疾患に関する啓発活動や治療等の周知に努め、新たな認知症疾患修飾薬の認可に伴う投与適応のための適切な検査の実施及び治療の提供が行える体制を整備する。	認知症疾患医療センターとして、関係各機関や患者に対し、認知症疾患に関する啓発活動や治療等の周知に努め、 <b>新たな認知症疾患修飾薬の認可に伴う投与適応のための</b> 適切な検査の実施及び治療の提供が行える体制を整備する。	新たな認知症疾患修飾薬の認可に伴う・・・を削除																																				
(P4) 第2-2-(1)-イ	抗がん薬調製ロボットの導入による業務の効率化、AI画像診断等による医療の質の向上に努める。また、国が推進するマイナ保険証、電子処方箋事業に適切に対応するとともに、その他の有益な患者サービスについて検討する。	抗がん薬調製ロボットの <b>導入活用</b> による業務の効率化、AI画像診断等による医療の質の向上に <b>引き続き</b> 努める。また、国が推進するマイナ保険証、電子処方箋事業に適切に対応するとともに、 <b>PHR等の</b> 有益な患者サービスについて検討する。	抗がん薬調整ロボットが導入され、活用することによる業務の効率化に努めるため。 PHR (Personal Health Record) を追加記載																																				
(P5) 第2-3-(1)-イ	予防医学研究センターにおいて、受診者に対する保健指導や健康に対する啓発活動の充実に努める。	<b>予防医学センター</b> において、受診者に対する保健指導や健康に対する啓発活動の充実及び1日ドックの予約枠拡充等、受診者数に応じた稼働率の向上に努める。	組織の名称変更による変更 予防医学研究センター → 予防医学センター																																				
(P5) 第3-1-(2)-ア-③	病院運営の基本となる医師の確保を推進するため、初期研修医等の若手医師が入居する医師宿舎について早急に基本設計、実施設計をとりまとめ整備を進める。	病院運営の基本となる医師の確保を推進するため、初期研修医等の若手医師が入居する医師宿舎について <b>早急に基本設計、実施設計をとりまとめ</b> 整備を進める。	医師宿舎の着工に伴い、年度計画の文章を変更																																				
(P7) 第3-3-(1)-イ	高度急性期病院として、安定的な経営を維持するための収入の確保に努め、下記の目標値達成に向け取り組む。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>95.6%</td> </tr> <tr> <td>(修正) 医業収支比率</td> <td>101.7%</td> </tr> <tr> <td>1日当たり入院患者数 (一般)</td> <td>700人以上</td> </tr> <tr> <td>1日当たり外来患者数 (一般)</td> <td>2,300人以上</td> </tr> <tr> <td>病床利用率 (一般)</td> <td>90.0%以上</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数 (一般除外有)</td> <td>13.0日以下</td> </tr> <tr> <td>中央手術室手術件数</td> <td>8,200件以上</td> </tr> <tr> <td>DPC医療機関群</td> <td>特定病院群の維持</td> </tr> </tbody> </table>	項目	目標値	経常収支比率	95.6%	(修正) 医業収支比率	101.7%	1日当たり入院患者数 (一般)	700人以上	1日当たり外来患者数 (一般)	2,300人以上	病床利用率 (一般)	90.0%以上	平均在院日数 (一般除外有)	13.0日以下	中央手術室手術件数	8,200件以上	DPC医療機関群	特定病院群の維持	高度急性期病院として、安定的な経営を維持するための収入の確保に努め、下記の目標値達成に向け取り組む。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>97.6%</td> </tr> <tr> <td>(修正) 医業収支比率</td> <td>103.5%</td> </tr> <tr> <td>1日当たり入院患者数 (一般)</td> <td>700人以上</td> </tr> <tr> <td>1日当たり外来患者数 (一般)</td> <td>2,300人以上</td> </tr> <tr> <td>病床利用率 (一般)</td> <td>90.0%以上</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数 (一般除外有)</td> <td>13.0日以下</td> </tr> <tr> <td>中央手術室手術件数 (※)</td> <td>7,200件以上</td> </tr> <tr> <td>DPC医療機関群</td> <td>特定病院群の維持</td> </tr> </tbody> </table> <p>※中期計画では8,200件以上</p>	項目	目標値	経常収支比率	97.6%	(修正) 医業収支比率	103.5%	1日当たり入院患者数 (一般)	700人以上	1日当たり外来患者数 (一般)	2,300人以上	病床利用率 (一般)	90.0%以上	平均在院日数 (一般除外有)	13.0日以下	中央手術室手術件数 (※)	7,200件以上	DPC医療機関群	特定病院群の維持	中期計画に基づく数値目標の変更 ※中央手術室手術件数については、眼科の医師数減少を考慮して下方修正
項目	目標値																																						
経常収支比率	95.6%																																						
(修正) 医業収支比率	101.7%																																						
1日当たり入院患者数 (一般)	700人以上																																						
1日当たり外来患者数 (一般)	2,300人以上																																						
病床利用率 (一般)	90.0%以上																																						
平均在院日数 (一般除外有)	13.0日以下																																						
中央手術室手術件数	8,200件以上																																						
DPC医療機関群	特定病院群の維持																																						
項目	目標値																																						
経常収支比率	97.6%																																						
(修正) 医業収支比率	103.5%																																						
1日当たり入院患者数 (一般)	700人以上																																						
1日当たり外来患者数 (一般)	2,300人以上																																						
病床利用率 (一般)	90.0%以上																																						
平均在院日数 (一般除外有)	13.0日以下																																						
中央手術室手術件数 (※)	7,200件以上																																						
DPC医療機関群	特定病院群の維持																																						
(P7) 第3-3-(1)-ウ	物価の上昇は、エネルギーをはじめ様々な分野に及んでおり、病院経営に必要な費用は増加の一途をたどる厳しい環境下にあるが、下記の数値を目標に可能な限り費用の節減に努める。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給与費 (医業+一般) 対医業収益比率</td> <td>47.7%</td> </tr> <tr> <td>材料費対医業収益比率</td> <td>35.0%</td> </tr> <tr> <td>経費 (医業+一般) 対医業収益比率</td> <td>18.1%</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品数量シェア</td> <td>90%以上を維持</td> </tr> </tbody> </table>	項目	目標値	給与費 (医業+一般) 対医業収益比率	47.7%	材料費対医業収益比率	35.0%	経費 (医業+一般) 対医業収益比率	18.1%	後発医薬品数量シェア	90%以上を維持	物価の上昇は、エネルギーをはじめ様々な分野に及んでおり、病院経営に必要な費用は増加の一途をたどる厳しい環境下にあるが、下記の数値を目標に可能な限り費用の節減に努める。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給与費 (医業+一般) 対医業収益比率</td> <td>47.2%</td> </tr> <tr> <td>材料費対医業収益比率</td> <td>35.0%</td> </tr> <tr> <td>経費 (医業+一般) 対医業収益比率</td> <td>17.1%</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品数量シェア</td> <td>90%以上を維持</td> </tr> </tbody> </table>	項目	目標値	給与費 (医業+一般) 対医業収益比率	47.2%	材料費対医業収益比率	35.0%	経費 (医業+一般) 対医業収益比率	17.1%	後発医薬品数量シェア	90%以上を維持	中期計画に基づく数値目標の変更																
項目	目標値																																						
給与費 (医業+一般) 対医業収益比率	47.7%																																						
材料費対医業収益比率	35.0%																																						
経費 (医業+一般) 対医業収益比率	18.1%																																						
後発医薬品数量シェア	90%以上を維持																																						
項目	目標値																																						
給与費 (医業+一般) 対医業収益比率	47.2%																																						
材料費対医業収益比率	35.0%																																						
経費 (医業+一般) 対医業収益比率	17.1%																																						
後発医薬品数量シェア	90%以上を維持																																						